

## 1 自己評価及び第三者評価結果

## 〔事業所概要(事業所記入)〕

|         |                              |            |            |
|---------|------------------------------|------------|------------|
| 事業所番号   | 2890900075                   |            |            |
| 法人名     | 株式会社 メディカル神戸                 |            |            |
| 事業所名    | グループホーム萌花甲子園                 |            |            |
| 所在地     | 〒663-8176 兵庫県西宮市甲子園六番町14番25号 |            |            |
| 自己評価作成日 | 平成22年1月29日                   | 評価結果市町村受理日 | 平成22年3月29日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 <http://www.kaigo-kouhyou-hyogo.jp/kaigosip/Top.do>

## 〔評価機関概要(評価機関記入)〕

|       |                        |
|-------|------------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 日本福祉文化研究センター |
| 所在地   | 大阪市都島区友渕町1丁目3-36-401   |
| 訪問調査日 | 平成22年2月5日              |

## 〔事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)〕

1Fに医療機関があり、24時間体制で医療と連携しており、利用者・家族に安心感を持っていただいている。又、ターミナルケアまで取り組み体制も整っている。「利用者に笑顔を、家族に安心を」をモットーに利用者の笑顔を大切にしている。

## 〔第三者評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)〕

利用者のアンケートで、医療機関との連携ができており、健康管理の面が高く評価されています。また、職員の対応や清掃の行き届いている点など、施設運営を含め職員の質の高さが感じられます。運営委員会も2ヶ月に1回の割合で開催され、今後地域との交流などが期待されます。市街地の中にあり、交通や買い物などの条件に恵まれた事業所だと感じました。

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項 目 |                                                    | 取 り 組 み の 成 果<br>↓該当するものに○印 |                                                                   | 項 目 |                                                                     | 取 り 組 み の 成 果<br>↓該当するものに○印 |                                                                   |
|-----|----------------------------------------------------|-----------------------------|-------------------------------------------------------------------|-----|---------------------------------------------------------------------|-----------------------------|-------------------------------------------------------------------|
| 56  | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)     | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんど掴んでいない | 63  | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)   | ○                           | 1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 57  | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)           | ○                           | 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                  | 64  | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                     | ○                           | 1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 58  | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                 | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 65  | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | ○                           | 1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くいない           |
| 59  | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)  | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 66  | 職員は、活き活きと働いている<br>(参考項目:11,12)                                      | ○                           | 1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 60  | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 67  | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 61  | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)       | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 68  | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | ○                           | 1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 62  | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている<br>(参考項目:28) | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |     |                                                                     |                             |                                                                   |

## 自己評価および第三者評価結果

(セル内の改行は、(Alt+)- + (Enter+)- です。)

| 自己<br>者<br>第 | 三   | 項 目                                                                                          | 自己評価                                                                                                                                  | 外部評価                                                                         |                                                     |
|--------------|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|
|              |     |                                                                                              | 実践状況                                                                                                                                  | 実践状況                                                                         | 次のステップに向けて期待したい内容                                   |
| I.理念に基づく運営   |     |                                                                                              |                                                                                                                                       |                                                                              |                                                     |
| 1            | (1) | ○理念の共有と実践<br>グループホーム萌花甲子園                                                                    | ホームとしてのモットーを大切にしている。月刊の機関紙には毎月載せるようにしている。今後、事業所の理念を見直し、更なる共有の努力をしたい。                                                                  | ホームのモットーを重視しており、機関紙には毎月掲載している。今後、事業所の理念の共有を職員間で図るよう検討している。                   | 基本理念を基にモットーを作り、職員の意識づけを進めていく取組みに期待したい。              |
| 2            | (2) | 〒663-8176 兵庫県西宮市甲子園六番町14番25号<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している            | 敬老の日には地域の保育園の子供達と交流している。自治会主催の桜まつりに地域のボランティアさんにも協力してもらい参加している。又、近隣中学生の職場体験学習の受け入れをして交流をもっている。                                         | 近隣の保育園との交流をもったり、自治会の行事である桜祭りなどにも参加している。また中学生の職場体験学習の受け入れなどにより地域交流を図っている。     | 地域でボランティアを募り、ホームで利用者との物作りや園芸などを行うことを通じ交流を進められてはどうか。 |
| 3            |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている                         | 相談来訪者には親身に話を聞き、対象者への理解や支援方法を伝え、相談者の力になれるよう努力している。                                                                                     |                                                                              |                                                     |
| 4            | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている      | 利用者家族、民生委員、地域包括支援センター職員、他施設の知見を有する者に参加を依頼し、運営推進会議を2ヶ月に1回開催している。現状の報告、問題提起、参加者からの助言を運営に活かし、行事でのボランティア参加などで協力を得ている。                     | 運営推進会議を定例化し、2ヶ月に1回開催している。利用者の家族や地域包括支援センターの職員の参加もあり、意見、助言等を得ている。             |                                                     |
| 5            | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる                | 運営推進会議に地域包括支援センター職員の参加があり、情報の共有や意見交換、行事の案内などを行っている。運営推進会議の議事録を作成し報告している。市の職員も参加する事業者連絡会に出席している。必要に応じて市の担当者へ相談している。今後も市との連携を密にとっていきたい。 | 市の担当者には日常問い合わせ等をよく行っている。事業所連絡会では、市担当者の参加もあり意見交換を行っている。今後も協力関係を進めていくよう検討している。 | 今後の取り組みとして地域包括との連携した体制作りを進められることを期待したい。             |
| 6            | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 全ての職員に身体拘束について指導していくようにしている。ホームの玄関は交通量の多い前面道路に面した2階にある為、利用者の安全の為出入口（玄関）はオートロックにしている。居室には鍵はかけていない。                                     | 事業所内で全職員に身体拘束について指導している。夜間や休日は安全上でオートロックにしている。                               |                                                     |
| 7            | (6) | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている      | 社内研修等で虐待について全職員で学ぶようにしている。言葉一つでも虐待につながる事を職員へ指導し、理解につなげている。                                                                            | 心理的な虐待などについても研修を事業所内で実施し、虐待への認識の共有に努めている。                                    |                                                     |

| 自己<br>者第三 | 項 目                                                                                             | 自己評価                                                                             | 外部評価                                                                  |                                                                     |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|
|           |                                                                                                 | 実践状況                                                                             | 実践状況                                                                  | 次のステップに向けて期待したい内容                                                   |
| 8         | (7) ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 今後研修などで学ぶ機会を作るようにしていきたい。                                                         | 事業所内での共通認識として繋げるよう検討しているが、具体的な事例が少ないため研修など取り上げる事例が少ない。                | 運営推進会議などで、地域包括職員や市担当者に事業所の取組みに対する説明、助言を依頼し、得られたものを事業所内で共有することが望まれる。 |
| 9         | (8) ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                      | 利用者や家族からの質問には誠意をもって答えるように努めている。又、不安や疑問点について十分な説明をし、納得・同意を得るようにし、経過を書面に残すようにしている。 | 契約前には、利用者の自宅を訪問し説明を十分に行うよう努めている。不安や疑問点については誠意をもって対応し、納得、同意を得るようにしている。 |                                                                     |
| 10        | (9) ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                  | 運営推進会議や家族来訪時に意見・要望等聞く機会を作るようにしている。                                               | 運営推進会議や日常の聞き取りのなかで意見、要望等を聞くようにしている。                                   | 利用者の家族側に対しては事業所側の取組みの意向が伝わるよう、アンケート結果の報告機会を設けてはどうか。                 |
| 11        | (10) ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                  | 毎月1回全体会議を開催し、職員一人一人の声を聞くようにしている。又、提案などその都度職員の声を大切にしている。                          | 全体会議が毎月1回(月曜日)開催され、事業所の担当医師も出席しており運営に関する提案など職員の意見を聞く仕組みが出来ている。        |                                                                     |
| 12        | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている       | 個々の職員が安心・快適に働く事ができるよう実際の勤務状況の把握に努め、法令を遵守した職場環境条件の提供を行なっている。                      |                                                                       |                                                                     |
| 13        | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている          | 個々の職員の力量に合わせた法人の内外の適切な研修を適切な時期に受けられるよう積極的に勧め、全体的なスキルアップを図っている。                   |                                                                       |                                                                     |
| 14        | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている  | 定期的に行われるGH連絡会で同業者との情報交換が出来、ネットワーク作りに役立っている。                                      |                                                                       |                                                                     |

| 自己<br>者<br>第三        | 項 目                                                                                  | 自己評価                                                                                              | 外部評価                                |                   |
|----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|-------------------|
|                      |                                                                                      | 実践状況                                                                                              | 実践状況                                | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 |                                                                                      |                                                                                                   |                                     |                   |
| 15                   | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 利用者本人の声を大切にし、不安や要望は傾聴し安心感を持って生活できるよう信頼関係作りを大切にしている。                                               |                                     |                   |
| 16                   | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | 家族の不安を取り除くよう、必要時に連絡を入れるようにしている。                                                                   |                                     |                   |
| 17                   | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | 小規模多機能型居宅介護施設・居宅介護支援事業所を併設しており、本人が一番必要としているサービスを提案できるよう、他のサービス利用を含めた視点で見ようとしている。                  |                                     |                   |
| 18                   | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                        | 職員はホームを家庭であると捉えている。日々の暮らしの中で昔の話を聞かせてもらいながらお茶パック作りや布切り、洗濯物たたみなど利用者ができる家事を職員が一緒に行うことで支えあう関係作りをしている。 |                                     |                   |
| 19                   | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている         | 秋祭りなど大きな行事の時は家族にも参加していただく場を作っている。また、ご家族様の声を大切にするようにしている。                                          |                                     |                   |
| 20                   | (11) ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                | 面会・来客などには積極的に対応している。                                                                              | 利用者に対する面会、来客には積極的に対応し関係継続の支援に努めている。 |                   |
| 21                   | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                 | 一人の利用者がピアノを弾き、他の利用者が音楽に合わせてリズムをとったり、一緒に歌を歌ったりして過ごしている。                                            |                                     |                   |



| 自己                                   | 者第三  | 項 目                                                                                                    | 自己評価                                                                                                                               | 外部評価                                        |                                                             |
|--------------------------------------|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|
|                                      |      |                                                                                                        | 実践状況                                                                                                                               | 実践状況                                        | 次のステップに向けて期待したい内容                                           |
| 22                                   |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | GHはターミナルケアまで行っているので現在ののところ該当者なし。<br>今後該当者があれば対応していきたい。                                                                             |                                             |                                                             |
| <b>III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |                                                                                                        |                                                                                                                                    |                                             |                                                             |
| 23                                   | (12) | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している                                           | 利用者や家族から一人一人の思いや暮らし方の希望の把握に努めるとともに、入居以前の暮らしを遮断しないようにしている(友人との交流など)。認知症が進んで意向を把握するのが困難な利用者については、馴染みの暮らし方を家族に聞いたり、利用者との会話で意向を推量している。 | 利用者や家族からの聞き取りにより、思いや暮らし方の希望を把握するように努めている。   | 利用者や家族からの聞き取りにより得られた情報を職員間で共有できるように、利用者ごとにノートを作成し活用されてはどうか。 |
| 24                                   |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | 一人一人の生活歴を大切に、馴染みの暮らし方に出来る限り近付けるように本人、家族と共に努めている。                                                                                   |                                             |                                                             |
| 25                                   |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている                                                     | 暮らしの現状を把握し、変化があればその都度把握するように努めている。                                                                                                 |                                             |                                                             |
| 26                                   | (13) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 職員会議にて意見を交換し合い、意見、アイデアを交換できる場をもっている。またその都度、今一番必要な事を考え、本人・家族・主治医、看護師と連携をとっている。                                                      | 利用者、家族、主治医、看護師と連携の下に介護計画を作成し、3ヶ月毎に見直しされている。 |                                                             |
| 27                                   |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 変わったことがあった時など記録に残すようにして職員間で情報を共有している。また日々の日誌に残している。                                                                                |                                             |                                                             |
| 28                                   |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | その時々生まれるニーズに対応して、本人や家族の思いを聞くようにしている。                                                                                               |                                             |                                                             |

| 自己<br>者第三 | 項目                                                                                                                       | 自己評価                                                                                                                    | 外部評価                                                                        |                                                        |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|
|           |                                                                                                                          | 実践状況                                                                                                                    | 実践状況                                                                        | 次のステップに向けて期待したい内容                                      |
| 29        | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                           | 地域から医療面のサポートや、近隣の食堂で出前をとっており利用者はそれを楽しみにしている。                                                                            |                                                                             |                                                        |
| 30        | (14) ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                  | かかりつけ医の岡田クリニック（内科・外科）が1階にあり、体調変化や希望に応じて24時間往診対応が可能であり、安心して自室で適切な医療を受けられる体制がある。                                          | 1階にかかりつけ医の（内科・外科）があり、利用者の体調変化や希望に応じて24時間往診対応が可能な体制である。週2回、リハビリ的な取り組みもされている。 | 安心して自室で適切な医療が受けられる体制のさらなる連携、向上を期待する。                   |
| 31        | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                               | 1階にあるクリニックの看護師と連携をとり、個々の利用者状態を把握し、適切な受診や看護を受け、早期発見につながるよう努めている。                                                         |                                                                             |                                                        |
| 32        | (15) ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 近隣の総合病院へ挨拶に行き、関係作りに努めている。                                                                                               | 入退院時の医療機関との協働、近隣の総合病院へ挨拶に行き、関係作りに努めているが、具体的な体制作りでやや弱い面がある。                  | 近隣の総合病院の医療相談員との連携を強めていく必要がある。                          |
| 33        | (16) ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | 終末期のあり方については契約時に看取りの場合や延命治療の有無について利用者と家族等にアンケート方式による確認をとっている。又、重度化した場合は利用者の意思に沿えるように家族等・主治医とで頻繁に話し合いを持ち具体的な対応方針を決定している。 | 最近、2例の看取りを行っており、重度化や週末期に入る前には利用者の意思に沿えるように家族等・主治医と話し合いを持ち具体的な対応方針を決定している。   | 利用者の個別対応を原則として、家族との連携がとれる時間を確保する。                      |
| 34        | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている                                                   | 所内研修において看護師より急変時の対応について学ぶ機会を定期的にするように努めている。                                                                             |                                                                             |                                                        |
| 35        | (17) ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている                                              | 年2回と新職員採用時に避難訓練を行なっている。又、緊急時の職員間の連絡網を整備している。                                                                            | 地元消防署の避難訓練も受けており、火災報知器も設置している。又、年2回と新職員採用時に避難訓練を行なっている。緊急時の職員間の連絡網も整備されている。 | 災害時の利用者全員の最終非難場所の確保、確定の整備には、近隣からの応援も得られるような関係作りが必要である。 |

| 自己<br>者<br>第三             | 項 目                                                                               | 自己評価                                                                                        | 外部評価                                                                            |                                                         |
|---------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|
|                           |                                                                                   | 実践状況                                                                                        | 実践状況                                                                            | 次のステップに向けて期待したい内容                                       |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 |                                                                                   |                                                                                             |                                                                                 |                                                         |
| 36                        | (18) ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている               | 個人の尊厳の尊重を基本理念に入れており、誇りやプライバシーを損ねるような言動を行なわないように注意している。                                      | 利用者の誇りや人格を尊重した言葉かけや対応を個別にしている。また、部屋の出入り口に暖簾を設けるなどプライバシーの保護に配慮されている。             | 職員のレベルアップの為に、接遇マナー研修受講の計画入れることも必要である。                   |
| 37                        | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                      | 利用者一人一人に自己決定路していただるように声かけひとつひとつに注意を払うように努めている。                                              |                                                                                 |                                                         |
| 38                        | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している  | 利用者一人ひとりが自分のペースで自然に過ごせるように「その人にとって本当に良い事」を職員が日々意識して支援している。                                  |                                                                                 |                                                         |
| 39                        | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                   | ご自分の洋服はご自分で選べるように利用者の方に声掛けをするようにしている。                                                       |                                                                                 |                                                         |
| 40                        | (19) ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 一人一人の好みに合わせて好きな物を職員が買いに行ったり利用者や買物をする機会を作るようにしている。行事ごとに季節の味覚を楽しんだり、たこ焼きを一緒に焼いてその場で食べるなどしている。 | デイケア食事サービスを利用しているが、献立が好みでない場合は、好きな物を職員が買いに行き対応している。季節ものを別に提供する等、利用者の要望も取り入れている。 | デイケア食事サービスを利用してが、出来るだけ温かい食事の提供・時間を考える温められるプレートに変えてはどうか？ |
| 41                        | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている           | 一人一人の状態に合わせた形態でお食事を提供している。又水分量も一日トータルで把握し、本人の好きな物を提供するようにしている。                              |                                                                                 |                                                         |
| 42                        | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                    | 出切る方にはご自分で口腔ケアをしてもらい、出来ない方もその方毎に本人の力に応じた口腔ケアをしてもらい、スタッフが支援を行っている                            |                                                                                 |                                                         |

| 自己<br>第三 | 項目                                                                                                               | 自己評価                                                                                     | 外部評価                                                                                                |                                                           |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|
|          |                                                                                                                  | 実践状況                                                                                     | 実践状況                                                                                                | 次のステップに向けて期待したい内容                                         |
| 43       | (20) ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている                              | 一人一人の排泄パターンを見て、トイレでの排泄を行なうようにしている。社外研修で排泄の自立を学び、職員間で情報の共有を行っている。                         | 個々の利用者の排泄パターンを把握し、トイレでの排泄を促すよう、自立に向けた支援をおこなっている。                                                    | 夜間は、ナースコールで職員が付き添い対応している。                                 |
| 44       | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる                                                   | 排便カウントを付け、看護師がチェックし排便コントロールを行なっている。又、トイレにて腹部マッサージを行ない、長く座ってもらうようにしている。                   |                                                                                                     |                                                           |
| 45       | (21) ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている                             | 利用者の体調を確認した上で、週2回入浴している。本人より拒否が見られる場合は無理強いせず日を変える等対応している。                                | 利用者の体調を確認した上で、一日3名ずつ毎日お風呂があり、週2回入浴している。シャワー浴1名、ベットバス対応1名と個別対応しており、本人より拒否が見られる場合は無理強いせず日を変える等対応している。 | 季節のお風呂、冬至はゆず、5月菖蒲湯と利用者が楽しめることも実行している。入浴温度、時間も個別対応している。    |
| 46       | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している                                                    | その時々状況に応じて休息の時間を利用者の希望によりとってもらうようにしている。又、昼夜逆転の方には昼間に起きていただくように食堂にお誘いする等上手な声掛けをするようにしている。 |                                                                                                     |                                                           |
| 47       | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている                                               | 薬は薬局が管理し、情報を共有できるようにしている。又、本人の状態の変化が見られれば主治医へ報告している。                                     |                                                                                                     |                                                           |
| 48       | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                                  | 行事などを季節ごとに行なっている。秋祭りでは家族との交流を楽しんでいただいている。一人一人の楽しみごとを職員も一緒に楽しむようにしている。                    |                                                                                                     |                                                           |
| 49       | (22) ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 利用者の希望により近隣のスーパーや公園等へ外出するようにしている(体調・感染症流行の時期など注意を払って)                                    | 一人ひとりのその日の希望により近隣のスーパーや公園等へ外出するようにしている。外出のタイミングに注意を払っているが、職員が手薄にならないよう注意している。                       | 外出支援にも、地域・学生ボランティアの利用を検討し、社会福祉協議会などを通じての募集・確保の方法を考えてはどうか？ |



| 自己 | 者第三  | 項 目                                                                                                                              | 自己評価                                                                                | 外部評価                                                                        |                                                |
|----|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|
|    |      |                                                                                                                                  | 実践状況                                                                                | 実践状況                                                                        | 次のステップに向けて期待したい内容                              |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している                                                  | 管理できる方はご自分で金銭を持っているが基本は金庫管理となっている。買物などでは支払をは自分でしていただいている。                           |                                                                             |                                                |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている                                                                           | 利用者と一緒に郵便局に行ったり、電話をしたいという希望があればホームの電話を使用してもらっている。                                   |                                                                             |                                                |
| 52 | (23) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 食堂のテーブルには季節ごとの花を生けたり、季節を感じてもらえるように職員が手作りで壁飾りをしている。利用者が不快な思いをしないように共有部分の掃除を徹底していきたい。 | 共用空間は狭さを感じさせるが、食堂のテーブルには季節ごとの花を生けたり、気の合った同士で話せる場をもてるように職員が工夫しながら対応している。     | 共有部分の清掃管理や、ベランダを活用した家庭菜園など居心地のよい共用空間づくりが期待される。 |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている                                                      | 気の合った同士で話せる場をもてるように職員が工夫しながら対応している。                                                 |                                                                             |                                                |
| 54 | (24) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                                          | 利用者の好みや生活習慣を大切にしている。家族と相談しながら本人が居心地良い環境づくりをするようにしている。                               | 利用者のQOLに合わせた、生活習慣を大切にしている。使い慣れた家具や衣類も家族と相談しながら持ち込み、本人が居心地良い環境づくりをするようにしている。 | 利用者ごとのノートを作成し、気付きを共有する、無理のない情報収集を工夫してみてもどうか？   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している                                             | 一人一人のできることわかることを職員一人ひとりが理解するように努め、利用者が安全にかつ自立した生活に向うように日々努めている。                     |                                                                             |                                                |